

特定非営利活動法人お口の健康ネットワーク 第30回理事会議事録

1. 日時 2023年9月30日(土) 15:00~18:00
2. 場所 じゅうろくプラザ会議室(岐阜市橋本町1丁目10番地11)
3. 開会 定足数報告

理事総数、出席者数は次の通りである。

理事総数：18名、出席者：14名

出席者：旭律雄、伊佐津和朗、磯崎篤則、河村啓司、楠本雅子、黒瀬真由美、小林崇之、友藤孝明*、
中村宗達、長浦寛子、藤井和夫* (遅参)、宗形信司 (遅参)、森田学、山口一朗
(監事) 旭律雄
(事務局) 草野栄路
*：リモート参加

4. 理事長挨拶

磯崎理事長より、開会の挨拶が行われた。

5. 議事録署名人選出

議事録署名人を河村啓司、黒瀬真由美とすることが提案され、承認された。

6. 報告事項

6-1. 会員数(事務局)

事務局より、資料に基づき会員数の推移について報告があった。

6-2. 事業報告

事務局より、総会議案に記載の事業報告の内容に沿って報告が行われた。

6-3. 決算報告

事務局より、総会議案に記載の決算内容について報告が行われた。

6-4. 認定歯科衛生士申請状況(事務局)

事務局より、認定歯科衛生士の登録申請者、推薦状況について報告があった。

6-5. 認定医療機関更新状況(事務局)

事務局より、2023年末に更新期限を迎える認定医療機関について更新見込み等について報告を行った。

6-6. 第9回お口の健康フェスティバル(東京開催)について(企画委員会)

伊佐津委員長より、以下の報告があった。

- ・開催日程 2024年4月21日(日)、又は28日(日)
- ・開催会場 東京歯科衛生専門学校
- ・小椋佳代子先生
- ・第10回は岡山での開催を検討したいとの意向が示された。

6-7. 2023年基礎セミナー(東京・大阪)開催報告(セミナー委員会)

山口委員長より、2023年の基礎編の実施状況、応用編の参加申込状況等について報告があった。

6-8. 2024年セミナーの開催方針についての意見聴取(セミナー委員会)

山口委員長より、セミナーアンケートの集約および、セミナー委員会メンバーでの意見聴取を行った内容について報告があった。また応用編終了後に改めて意見集約を行い、来年春の理事会時に協議に挙げさせていただきたい旨報告された。2024年のセミナーについては基本的に今年と同様のスタイルを踏襲し、改革を行う場合は2025年以降で行いたいとの方針が示された。

6-9. 2023年つまようじ法に関する実態調査の結果の概要(学術委員会)

友藤委員長より、実態調査の結果について報告があり、以下のような意見が出た。

黒瀬理事：この調査の目的と利用方法がより明確になったほうがよいのではないか。

中村理事：これは1次集計結果となっているが、引き続き分析されるのか。今後のヒントになるような情報が欲しい。

友藤委員長：今回の調査から、いろいろな情報は見て取れるので、今後学術委員会で検討していきたい。

森田副理事長：各医院の取り組みがバラバラで、統一が取れていないというのがある程度分かったのではないかと。講師などをされる先生はこのあたりも指導の参考にされるとよいと思う。

6-10. 会報の連載記事について(広報委員会)

黒瀬委員長より、会報の連載記事「予防歯科お悩み相談室」の内容について報告があった。次回は、エナメル齶蝕と根面う蝕の違い、根面う蝕の予防について掲載予定で現在編集中である旨報告され、根面う蝕というテーマを扱うことについても了承された。

6-11. つまようじ法解説動画(CG版)のリニューアルについて(広報委員会)

事務局より、新しく制作したCGのサンプル動画を紹介し、今後リニューアル版の解説動画の制作を行いたい旨の報告が行われ、以下のような意見が出された。

友藤理事：新しく動画を制作した場合、学生教育等に使ってよいのかどうか確認したい。

事務局草野：皆様のご意見を伺いたいが、特に利用の制限はかけなくてよいと考えている。

森田副理事長：本会の予算で制作したほうが私も会員も気兼ねなく使えるのではないかと。

磯崎理事長：実際には歯列不正の場合など、さまざまなケースが考えられるので臨床の先生方にもご意見を伺いたい。

黒瀬理事：いろんなケースをそれぞれCGで表現すると分かりやすいかもしれない。

磯崎理事長：リニューアルの目的も明確化しながら進めていただきたい。

6-12. その他

黒瀬理事より、訪問実習について、以下のような意見が出された。

- ・訪問実習を受講した先で、2回目以降は実習だけを受けたい（レクチャーはなし）というところがあり、訪問実習の内容を分ける必要があるのではないか。

楠本理事：事前に先方を聞いた上で、必要であれば最初 30 分くらい説明をして、その後実習を行っている。実習だけのパターンがあってもよい。

小林委員長：認定委員会としての意見となると一度持ち帰らせていただきたいが、その都度要望に応じて対応していただくのがよいのではないかと。

磯崎理事長：初回の訪問実習、2回目の訪問実習、2回目以降でもスタッフが入れ替わった場合などでニーズが変わってくるのではないかと。事前に打合せの上対応していただきたい。

7. 審議事項

7-1. 第 15 期（2023 年 7 月度）決算承認

事務局より報告が行われた決算内容について、異議はなく承認された。

7-2. 第 16 期（2024 年 7 月度）事業計画承認

事務局より、現在予定されている事業計画について報告があり、異議はなく承認された。

7-3. 第 16 期（2024 年 7 月度）予算承認

事務局より、総会の資料に基づいて説明を行った。委員会の予算（5 委員会×3 万円＝15 万円）が計上されていないという指摘があり、予備費に計上している 10 万円を取り崩して委員会の予算の一部に充てる形で予算案を修正し、明日の総会に諮ることとなった。

7-4. 役員を選任

小椋佳代子先生、堀内正純先生が役員に就任することについて、理事会として承認された。

7-5. 認定歯科衛生士の承認

申請者 15 名のうち、4 名は推薦状まで整っており、異議なく承認された。残りの 11 名については明日の研修会の実技担当の理事の指導・確認をもって承認見込となった。

7-6. 2024 年以降のセミナー会場選定について（セミナー委員会）

山口委員長より、大阪の歯科衛生士学校などの、チェアが使えるセミナー会場の情報が欲しいとの要望が出されたが、現状では新しい情報がなく継続審議となった。

7-7. 定款変更について

（1）第 3 条 目的

前回の理事会で、小畑理事より「公衆衛生」という言葉を入れてはどうかという意見があり、その

変更案について審議を行った。

森田副理事長：すでに「すべての人々に対して」という文言があるので、あえてこの文言を入れる必要があるのか疑問がある。

黒瀬理事：「すべての人々に対して」は対象で、手段としての個人衛生とか公衆衛生、つまり「パブリックヘルスマインドを持って」という観点を小畑先生は入れたかったのではないか。

友藤理事：この文章だと重複があり、また個人衛生と公衆衛生は二つに分けられるものではないので違和感がある。あえて言うなら「すべての人々に対して公衆衛生や口腔衛生の向上」くらいではないか。

山口理事：小畑先生にご参加いただいた上で審議すべきではないか。

以上のような意見が出され、継続審議となった。

(2) 第13条 役員の定数（定数増の検討について）

磯崎理事長より、①委員会で活動するための人数が不足しているという意見が出ている、②九州の理事が不在となっている、などの問題があり、現在の20人以内から、25人以内くらいにしてはどうかという意見が示された。

小林理事：後の案件にもあるが、現状の理事の出席率が低いと感じている。増員するのであれば、できるだけ出席してもらうような形でお願いしたい。

磯崎理事長：私が理事長になって2期目に、出席できない理事に降りてもらった経緯はある。

中村理事：将来のことを考えると、今後は若い理事を増やすべきである。

山口理事：大学関係の若手の先生に入っていただくことも必要ではないか。

友藤理事：実際に何人理事が必要なのか、きちんと根拠をもって定数増について検討すべきではないか。

黒瀬理事：どこの組織でも全員が活発に活動しているというわけではないので、現状の20人で空きもないという状況であれば少し余裕をもって25人でもよいのではないか。

以上のような議論がなされ、継続審議となった。

(3) 第16条 役員の任期

中村理事より、理事長の任期は2期4年としてはどうかとの意見が出され、以下のような議論がなされた。

宗形理事：理事長を誰かが引き受けるとしても、1年くらい前から準備が必要で、空白期間ができると良くないのではないか。

河村理事：では誰が次の理事長としてふさわしいのか。

山口理事：2期4年とかではなく、一定の年齢で区切る定年制というものも選択肢としてあるかもしれない。

磯崎理事長：次の理事長にふさわしい人がいれば、理事長職に固執するつもりは全くないが、皆さんのご意見によると、現状では任期を定めることには課題も多く、継続審議とさせていただきたい。

7-8. 次回以降理事会・総会・研修会日程

以下の日程を進めることで承認された。

第31回理事会 2024年4月20日、又は27日（土曜日午後）

第32回理事会・第16回通常総会 2024年10月5日（土）・10月6日（日）

7-9. その他

（1）宿泊費の増額について（山口理事）

山口理事より、宿泊費が高騰していることを踏まえ、支給金額を見直してはどうかという意見が出され、磯崎理事長より、地方は1万円、東京・大阪は2,000円上乗せの12,000円でどうかという方針が示された。

（2）クールビズの取扱について（山口理事）

山口理事より、当会のクールビズの期間を明確にしてはどうかとの意見が出された。磯崎理事長からは、当会でのルールはないが、セミナーの講師などでは考慮する必要があり、5月から10月までノーネクタイで問題ないだろうとの判断が示された。

（3）理事会における理事の出席について（山口理事）

山口理事より、欠席する理事やその欠席理由について理事長がきちんと把握してほしいとの要望が出された。それに対して磯崎理事長は了承し、今後多くの方が理事会に出席していただけるようにしたいとの意向が示された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2023年9月30日

議長

磯崎 篤則

議事録署名人

河村 啓司

議事録署名人

黒瀬 真由美